

「みなさんの声を聴かせてください」アンケート結果

市では、住民のみなさんがまちづくりについて、日ごろ感じている意見や要望を聞かせていただき、これからのまちづくりを進めていくための基礎資料とするため、アンケートを行いました。結果については、次のとおりです。

企画財政課企画経営室 ☎ 25 1101

調査対象

令和4年12月に市内在住の10歳以上の市民全員のかたを対象とし、378人のかたから回答をいただきました。(内訳 オンライン:250 郵送:128)

回答者の年代別

回答者の年代別割合は次の表のとおりで、そのほか無回答のかたが1.1%でした。

10歳代	0.5%	50歳代	22.2%
20歳代	3.4%	60歳代	20.9%
30歳代	11.4%	70歳代	18.8%
40歳代	17.2%	80歳代	4.5%

重要度が高かった施策

- 1位 しっかり学ぶ子どもたちを育てる
- 2位 消防・救急体制を充実する
- 3位 子どもと子育て家庭をやさしく支える
- 4位 質の高い市民サービスを提供する
- 5位 災害や犯罪に強いまちをつくる

重要度が低かった施策

- 1位 鳥羽ファンの憩いとつながりづくり
- 2位 農業に触れる機会をつくる
- 3位 みんなで支え合うまちをつくる

満足度が高かった施策

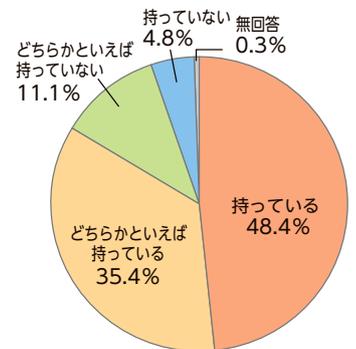
- 1位 安心な水を未来につなぐ
- 2位 消防・救急体制を充実する
- 3位 生涯学習やスポーツを進める
- 4位 災害や犯罪に強いまちをつくる
- 5位 子どもの未来の礎となる鳥羽ならではの教育を進める

満足度が低かった施策

- 1位 とばびとの「働く」を支える
- 2位 住環境・土地利用の健全化
- 3位 質の高い市民サービスを提供する

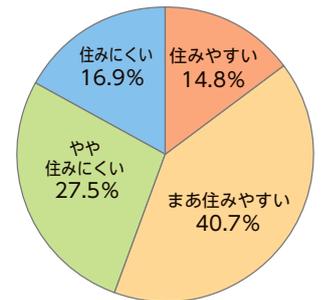
鳥羽への愛着

全体で「持っている」かたは48.4%「どちらかといえば持っている」が35.4%となり、83.8%のかたが愛着を持たれています。



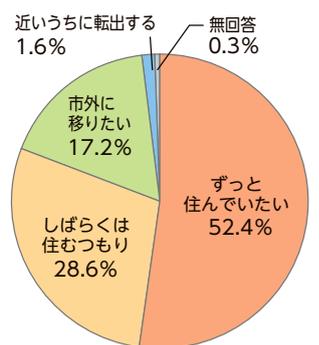
鳥羽の住みやすさ

55.5%のかたが「住みやすい」、「まあ住みやすい」と答えており、27.5%のかたが「やや住みにくい」、16.9%のかたが「住みにくい」と答えています。



今後の定住について

81.0%のかたが「ずっと住んでいたい」、「しばらくは住むつもり」と答えています。住み続けたい理由については、「緑や自然環境が豊かである」、「近所づきあいなどの人間関係がよい」、「犯罪が少なく風紀がよい」が高くなっています。



※各グラフや表の百分率は小数点第二位を四捨五入して小数点第一位まで表記しているため、合計が100にならない場合があります。

力を入れてほしいまちづくり分野

全体では、雇用促進が12.7%と最も高く、次いで、保健医療12.6%、結婚・子育て11.8%となっています。

くわしい結果については、市ホームページで公開しています。みなさんからの貴重なご意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。調査へのご協力ありがとうございました。

